

平成30年11月20日

保護者の皆様

南知多町立豊浜小学校長

堀田正敏

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果と対策について

晩秋の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、平成30年4月17日に全国の小学校第6学年を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果と対策についてお伝えします。

1 学力についての結果

(1) 国語の結果と対策

①結果

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くことができる。
- ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができる。
- ・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことが苦手である。
- ・話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることが苦手である。
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことが苦手である。

②対策

- ・ペア活動等の教育活動において、他に分かりやすく説明させる場面を設定する。
- ・話し合いの際、役割を決め、話し合い活動の場面を多く経験させる機会を設定する。
- ・読み取りの際、人物の行動や言葉などや根拠となる叙述を取り上げて説明させる場面を設定する。

(2) 算数の結果と対策

①結果

- ・小数の除法の意味について理解している。
- ・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。
- ・円周率の意味について理解している。
- ・1にあたる大きさを求める問題場面で数量の関係を理解し、数直線上に表すことが苦手である。
- ・示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することが苦手である。
- ・示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることが苦手である。

②対策

- ・問題場数を数量の関係を図や数直線に表して考える場面を多くもつ。
- ・立体図形の指導の際、縦・横・高さの認識を立体図形で示しながら指導する機会を設定する。
- ・集めた複数の情報を基に事柄を判断する際、結果を表に整理し比較する活動を取り入れる。

(3) 理科の結果と対策

①結果

- ・安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。
- ・より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる。
- ・電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することが苦手である。
- ・実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善することが苦手である。

②対策

- ・既習内容や生活経験と関連づけて、予想や仮説を基に実験計画を立てる場面を設定する。
- ・実験の際、他者と自分の予想を比較しより妥当な考えに改善させる経験を積み重ねる。

2 児童生徒質問紙調査の結果

(1) 肯定的な回答の割合が高い項目

- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 理科の勉強が好きだ。

(2) 肯定的な回答の割合が低い項目

- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 自分で計画を立てて勉強をしている。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。

(3) 対策

- 将来を見通した働きかけをし、子どもたちに夢をもたせるような取り組みをする。
- 保護者の協力を得ながら、家庭学習の充実を図る。
- 将来に向けたキャリア教育を教科・領域で関連づけて指導する。